



東京理科大学

維持会レター

第38号

vol.38 2023.7



学校法人 東京理科大学 理事長

浜本 隆之

維持会会員の皆様におかれましては、日頃より本学の維持発展に多大なるご協力を賜り、誠にありがたく、心から御礼申し上げます。

2031年の創立150周年に向けた次のマイルストーンとして、昨年策定した中期計画も2年目に入りました。初年度の振り返りと反省を踏まえ、引き続き、既に始まっている葛飾キャンパス第二期新棟建設工事や現在計画中の神楽坂キャンパスの再構築、野田キャンパスでのキャッシュレス化の推進等のほか、教育研究の更なる飛躍を支える様々な施策に取り組んでまいります。

皆様もご存知のとおり、現在、日本政府は高度な理系人材の育成強化を重要な方針として掲げています。国内外での競争力の強化やイノベーションの推進のために、理系教育への投資が喫緊の課題となっていることは論を俟ちません。「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を建学の精神とする本学は、これまでも優れた理系人材を輩出することで我が国の発展に貢献してきましたが、このような社会の要請に応え世界の課題を解決することは創立以来の使命と言えるでしょう。

昨今の急激な物価上昇は大学の運営にも様々な影響を与えております。経済的に困窮した学生に対する国からの援助は増額傾向にありますが、まだ充分とは言えません。また、度々報じられているとおり、我が国では博士課程へ進学する学生が頭打ちにあり、本学も例外ではありません。

こうした事態に対応すべく、本学では既存の支援策に留まらず、今後も優秀な学生が学業に打ち込むことができるよう、教育研究環境を充実させていく予定です。

私たちは、高度な研究とそれに裏打ちされた教育によって社会を変革し、持続可能なより良い未来を創り出すことができると信じています。今後も、維持会の皆様からのご支援とご期待に応えられるよう理事会、学長室、教職員が一丸となって本学の発展に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京理科大学 維持会 会長

酒井 陽太

維持会員の皆様には日ごろよりご協力を賜り心より感謝申し上げます。

この4年間コロナウイルスに振り回されましたが次第に平常に戻りつつあります。その間、こうよう会への寄付の依頼を控えたりいたしました。今は平常に戻り集まりました寄付金総額も順調に増えてきております。

また、令和3年にスタートしました冠奨学金も給付が始まり、顔の見える奨学金として特徴的なものとなっています。

本学は明治14年(1881年)の創立ですので令和13年(2031年)に創立150周年を迎えます。理工系総合大学としての国際的順位を上げ、国の国際卓越研究大学10校にも申請するなど、設立当初の建学理念「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を実践して来ております。

創立当初から本学の経営を支えてきた維持会の歴史を振り返った時、日本は欧米の文明を取り入れ、追いつけと官も民もそれぞれに一生懸命であったことを知ります。創立者の一人でリーダー格であった寺尾寿は、安政2年(1855年)の生まれです。東京帝国大学にあった物理の実験器具を、本学のために快く貸し出し協力してくれた会津藩士だった山川健次郎は、安政元(1854)年の生まれです。ベルリン大学のコッホ博士のもとで血清療法を開発した北里柴三郎は、嘉永5(1853)年熊本生まれです。年頃は同じくして幕末から明治、大正を生きた報国の志を持った人たちです。それぞれフランス、アメリカ、ドイツに留学をしています。

本学設立の明治14年ごろは薩長による明治政府が欧米の近代文明を取り込み、植民地化を防ぐために富国強兵、殖産振興を強力に進めました。また、幕末に江戸幕府が締結した不平等条約の改正は明治政府の最大の外交目標でした。

当時、立身出世には法律を学ぶことが重要とされ、理学を目指す人は多くはありませんでした。留学で近代文明を目の当たりにした上記の3人は理学、医学の重要性を認識した若者たちでした。それが「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」という精神となったのでした。

今、時代は地殻変動ともいべき大きな転換点を迎えています。

ノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生が言われている「社会に役立つ仕事をする有為な人材」を育成するために維持会の役割は重要です。

皆様にはご寄付の金額の多寡に拘わらず、長くご支援をお願いいたしたいと思います。

維持会員の皆様のご支援に感謝するとともに皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

第 88 回 常任維持会報告

東京理科大学維持会は、東京理科大学創立者の先生方からの寄付によって財政の苦難を乗り越えた遺徳にならい、大学の維持及び発展に寄与することを目的とした組織です。

維持会は、東京理科大学維持会会則にもとづき、常任維持会を設置し運営しております。常任維持会の構成員は、栄誉会員及び特別会員のうちから 10 名以内を、理事長が理事会の議を経て委嘱することになっており、2023 年 5 月現在 10 名の方が常任維持会員として委嘱されております。常任維持会は、年 2 回開催され、法人の維持及び発展に寄与する活動に関する事、維持会会員に関する事、寄付者に対する顕彰に関する事などを審議しております。



2023 年 5 月 23 日に開催された第 88 回常任維持会について、主な点を報告いたします。

1. 維持会会員に対する特典の追加について

1 月から 12 月までの一年間に寄付金額 10 万円以上の寄付者（維持会会員）に対して、東京理科大学オープンカレッジの翌年度春夏期講座（語学の講座を除く）の中から 1 講座を、無料受講できるようにする旨の提案があり、承認した。

2. 寄付金関係諸規程の改正に伴う取扱いについて

「学校法人東京理科大学維持会会則」及び「東京理科大学維持会会則」（施行日：ともに 2023 年 4 月 1 日）の改正に伴い、維持会長の職務を代理する副会長として、加藤和詳氏を指名したい旨の提案があり、承認した。

3. 維持会会員承認について

2022 年 10 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の間に寄付された新規会員 22 名と追加寄付 492 件について報告があった。

4. 顕彰者について（2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

栄誉会員 E に 1 名、特別会員に 6 名が昇格したことの報告があった。

栄誉会員 E	： 望月圭一郎 様	平成 10 年経営学部経営学科卒 平成 12 年経営学研究科経営学専攻修士課程修了
特別会員	： 笠原 文善 様	東京理科大学 理事
	森田 純恵 様	昭和 55 年工学部第一部工業化学科卒 昭和 58 年理学部第一部数学科卒
	木下 幸二 様	令和 2 年経営学研究科技術経営専攻専門職学位課程修了 昭和 61 年理学部第一部応用物理学科卒
	君塚 弘明 様	昭和 24 年化学科卒 昭和 26 年理学部第一部物理学科卒

5. 「募金顕彰の会」の開催について

2023 年 5 月 23 日に PORTA 神楽坂において、東京理科大学維持会募金顕彰の会を開催する旨の報告があった。

【常任維持会】

会 長	酒井 陽太				
副会長	岡本 公爾	加藤 和詳			
会 員	秋山 仁	岡村 総一郎	坂本 功	望月 圭一郎	
	本山 和夫	山田 義幸	吉本 成香		

(任期：2020 年 12 月 28 日から 2024 年 12 月 27 日まで)

【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2022年10月1日～2023年3月31日)

個人	38,085,000円
団体	5,017,224円
<small>(297,000円は個人の累計に算入します。)</small>	
こうよう会	13,417,000円
法人	211,550,797円
合計	268,070,021円

【維持拡充資金(第二期) 寄付総額】

(2022年4月1日～2023年3月31日)

個人	187,360,000円
団体	7,752,214円
こうよう会	32,843,000円
法人	212,650,797円
合計	440,606,011円

表彰者

募金顕彰の会(2023年5月23日開催)において、栄誉会員D(1名)、栄誉会員E(1名)及び特別会員に昇格した方(3名)に浜本理事長(写真右)から表彰楯を贈呈しました。



栄誉会員D 大村 智 様
昭和38年理学研究科化学専攻
修士課程修了



栄誉会員E 望月 圭一郎 様
平成10年経営学部経営学科卒
平成12年経営学研究科経営学専攻
修士課程修了



特別会員 笠原 文善 様
東京理科大学 理事
昭和55年工学部第一部工業化学科卒



特別会員 森田 純恵 様
昭和58年理学部第一部数学科卒
令和2年経営学研究科技術経営専攻専門職学位課程修了



特別会員 藤阪 知之 様
昭和41年理学部第一部応用数学科卒



冠奨学金を受給した学生からのメッセージ

2021年度に「寄付者の名前を付した奨学金(冠奨学金)」として賜りましたご寄付は、「2022年度東京理科大学維持会冠奨学金」として活用させていただきましたことをご報告します。2022年度は、「維持会奨学金・フタムラ化学奨学金・夜力奨学金」とあわせて、学生70名に対して18,350,000円を給付しました。

2022年度に各奨学金を受給した学生から、感謝のメッセージが寄せられております。温かいご厚志に対する感謝の気持ちと、将来への志を持って懸命に勉学に励む姿をご紹介します。

今後とも、本学の発展にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆薬学部薬学科 2年

今回のご支援いただき本当にありがとうございます。おかげさまで大学生活に真摯に向き合える時間が増え、自分が将来目標としている薬剤師に一步步近づけることができていると実感しております。今後も勉学をはじめあらゆることに挑戦し、一生懸命取り組むことで、将来はがんに関わる研究者や薬剤師になりたいと思います。

◆薬学部生命創薬科学科 2年

この度は多額のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。まさか自分が選んでいただけるとは思っていなかったのですが、素直に嬉しい気持ち、ありがたい気持ちでいっぱいです。昨年度は勉強とサークル活動の傍らほぼ毎日のようにアルバイトを行う日々を送っていました。奨学金に採用いただいた今は、学費などによる困難が減り、それほどアルバイトに力を入れなくてもよくなったため、昨年度より日々が質の高いものになっていることを実感できています。

◆工学部電気工学科 2年

このような支援をしていただきありがとうございます。これを機により一層日々の学習に取り組んで参ります。また将来、社会に貢献できる人材へと成長し、支援していただいたご恩をお返しできたらと思います。

◆工学部電気工学科 2年

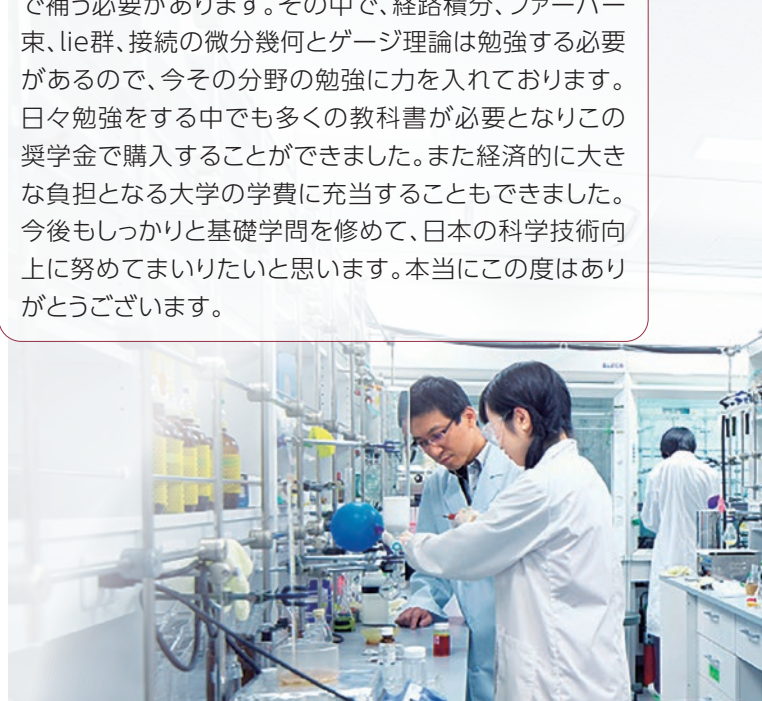
給付型の奨学金の奨学生として採用いただき、大変嬉しく思います。中高から電子工作をしてきたこれらの知識を発展させつつ、情報分野の力を組み合わせてものづくりをしていきたいと考えているこの姿勢に対し、奨学金をいただくことができ嬉しく思います。大学での基礎的な知識の学習と、授業外での様々なアウトプットを、いただいた資金も活用しながら、緩めることなくこれからも行っていけたらと思います。

◆工学部電気工学科 2年

ハイブリッドロケットを自作して打ち上げるCOREというサークルに所属していて、専門である電気系の実践的な経験を積んでいます。サークルで活動することで、複数人で協力して期限内にものを完成させる感覚も身につけられています。ものづくりには座学だけではなく実践的な開発の経験が重要であり、それには多くの費用が必要になります。今回ご支援をいただいたことでその貴重な経験ができており、心より感謝申し上げます。

◆理学部第二部物理学科 2年

今、私は大学で幾何学の授業を多く履修しています。物理学と幾何学はとても密接につながっていて、学部時代に多くの幾何学の知識を吸収しておくことが、私が修士課程で専攻したい分野を学ぶ上で多いに重要となるからです。修士課程では、ゲージ理論と量子コンピュータの研究をしたいと考えております。その中で必須となるのは、群論と微分幾何学と量子演算の知識となります。量子力学は学部の必修科目にもありますが、それだけではあまりにも内容が軽いので修士レベルまでには自分で補う必要があります。その中で、経路積分、ファーマー束、lie群、接続の微分幾何とゲージ理論は勉強する必要がありますので、今その分野の勉強に力を入れております。日々勉強をする中でも多くの教科書が必要となりこの奨学金で購入することができました。また経済的に大きな負担となる大学の学費に充当することもできました。今後もしっかりと基礎学問を修めて、日本の科学技術向上に努めてまいりたいと思います。本当にこの度はありがとうございます。



◆理学部第一部物理学科 3年

学業面に力を注ぐことは勿論、部活動では主に後輩の指導に注力しています。今年は初心者が多く教える上で大変なことも多いですが、他校との合同練習の頻度を増やしたり、練習日を1日増やすなどして日々の練習に励んでいます。その結果、全日本理工科大学で3位に入賞することが出来ました。

◆理学研究科科学教育専攻 2年

将来社会に羽ばたいていく子どもたちを「数学」という教科の立場からどのようにして育てることができるのかを日々学び、研究しております。また、子どもが授業を受ける環境をどう変えることで、さらに教育的効果が期待されるのかを教育工学の観点から研究をおこなっております。また来年度からは私立の中学高校教員として働くことが決定いたしました。最後にこの支援のことを忘れずに、恩返しするつもりで社会貢献できるようにこれからも一生懸命やっていきます。

◆理学研究科物理学専攻 博士後期課程2年

奨学金に申請する際に、私のこれまでの研究実績では採用されないのではないかと不安でした。しかし予想外にも採用されたことで、感謝とともに驚きがあったことをよく覚えています。当然、昨年度までも研究活動を積極的に行っていましたが、この奨学金に採用されたことで、東京理科大学の代表の1人として公式にご支援をいただいているのだという自覚が生まれ、これまで以上に研究に意欲的に取り組むようになりました。また自身の研究もちろんです、後輩の研究に助言するような機会も増え、研究室内の雰囲気が一層良いものになったと感じています。

◆理学研究科物理学専攻 博士後期課程2年

液体が引き起こすポッケルス効果やその応用・新規光路の開発など、特に今年度は多くの研究テーマを平行して進めることができました。なので、今年度末までに纏め上げることに注力しています。固体とはまた違った液体の特性を明らかにしていきたいと思います。

◆理学研究科物理学専攻 博士後期課程3年

この度は採用していただき、誠にありがとうございます。支援を受けられたこと、家族一同喜んでおります。コロナにより父の自営業は大きな影響を受けており、家計は厳しい状況が続いております。また、博士課程では研究活動も忙しく、学事とアルバイトの両立に悩んでおりました。お陰様で、時間に融通が利くようになり、重要な実験などのスケジューリング等無理なく組んでおります。金銭面、時間面、両面において多大な助けとなっております。

◆理学研究科物理学専攻 博士後期課程3年

現在は、ランダムウォークの量子版とも呼ばれている量子ウォークを利用した普遍的な量子計算機に関する理論研究に注力しています。具体的には、スピン自由度を考慮した量子ウォークを独自に定式化し、これを利用して、超高速なデータ符号化や全自動的なエラー訂正方法などを包括した、量子計算機の実装理論の構築を目指しています。いずれは私も博士号を志す次の世代に多大な援助ができるよう、研究者としてのキャリアを築いていけたらと思います。

※都合により、一部編集して掲載しております。
※2022年度給付時の所属・学年を掲載しています。

2023年度は6つの冠奨学金が給付されます

渡辺一之奨学金 ♪ 関智弘奨学金 ♪ 白井康雄奨学金
大澤賢一奨学金 ♪ 森野義男奨学金 ♪ 細川斉子奨学金

維持会会員の特典が増えました！ オープンカレッジを無料で受講できます。

2023年1月から12月までの1年間に、寄付金額10万円以上をいただいた方は、「東京理科大学オープンカレッジ」2024年度春夏期講座の中から1講座を無料で受講できます。(語学の講座は対象となりません。)従来の会場型講座(対面)に加え、自宅など場所を問わず受講いただけるオンライン講座(Zoom)もあります。理科大ならではの学びをぜひ体験してみませんか。

※「東京理科大学オープンカレッジ」は、実務的で社会人として有用な知識や技術を習得できる「社会人教育・リカレント教育」の場として多くの講座を開講しています。受講対象者の方には、2024年2月頃に案内を送付する予定です。



オープンカレッジの講座はこちら

引き続き「冠奨学金支援」を募集しています

2022年度から、寄付金を原資とした「東京理科大学維持会冠奨学金」制度(給付型奨学金)を創設し、学生への給付を開始しました。奨学金を受給した学生から、ご支援をいただきましたみなさまへ感謝のメッセージが多数届いており、P11・12でご紹介しています。今年度も引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【寄付者の名前を付した冠奨学金】

- ・1口300万円を一括寄付された方(1口以上) … 使途番号 21
- ・給付対象学生の学部・研究科等を指定できます。(学科・専攻の指定可)
- ・学生に、1口当たり30万円(給付期間10年)を給付します。

【維持会奨学金・フタムラ化学奨学金・夜力奨学金】

- ・寄付金の使途として、「奨学金支援」を指定された方 … 使途番号 20
- ・寄付金額の定めはありません。
- ・学生への給付金額及び給付に関する選考基準は、本学にて検討します。



インターネット寄付はこちら



都道府県別維持会会員数一覧

2023年3月31日現在

会員種別 会員格付	栄誉会員							特別会員		終身会員		普通会員						
	SA	AA	A	B	C	D	E	F	G	H	I							
北海道								1		1	1	6	1	11				
青森												6		2				
岩手								1			1	1		6				
秋田									1		1			3				
山形												1	1	3				
宮城									1	2	1	2	1	4				
福島														6				
茨城								1	3	1	5	1	21	7	34			
栃木								1	1		2	4	3	8				
群馬											1	1	1	17				
埼玉				1				4	1	3	7	6	21	5	43	14	82	
千葉				1		1			3	2	12	3	32	8	58	26	101	
東京	1		1			2	2	5	4	16	5	31	12	63	26	131	77	258
神奈川					1			6		2	1	7	4	15	9	52	30	124
長野										1	1	1	4	9	2		14	
山梨												1	3				3	
静岡												2	3	4	3		12	
愛知	1								1	1	2		2	1	4	2	18	
岐阜													2	1			4	
福井								1		1		1	1				2	
石川											1		2				3	
富山												1	1	2			4	
新潟													1	2	2		12	
三重												1	2	1			4	
滋賀												2					2	
大阪											1	2	2	2			9	
京都											1	1		3			4	
奈良													3	1			2	
和歌山							1						1				2	
兵庫								1				1	2	2	3		7	
鳥取																	1	
島根																	1	
岡山													4	3			8	
広島											1	1	7	1			13	
山口												1	12				28	
香川												1	4	1				
徳島												1	1				6	
高知					1													
愛媛									1				1	1			2	
福岡												1					8	
佐賀																	1	
長崎													1				1	
熊本														1			3	
大分													1				5	
宮崎												1	1				1	
鹿児島												2	1				2	
沖縄													2				3	
不明												1					3	
計	0	0	1	2	2	4	16	29	68	168	402						847	

赤字は物故者数